

□利用実証提案書  
■利用実証計画書

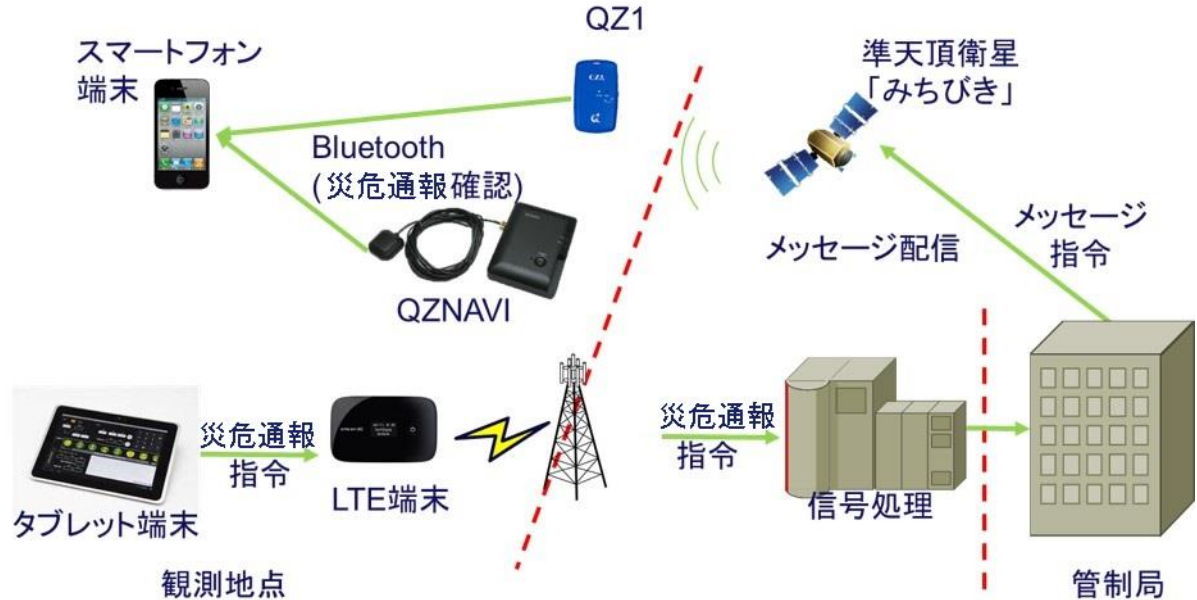
平成 27 年 5 月 30 日 Ver.1

|                                     |   |  |
|-------------------------------------|---|--|
| テーマ                                 | 準天頂衛星システムを活用したダム放流情報配信システムの実現可能性検討  |  |
| 実証参加機関<br>(共同機関)                    | 一般財団法人電力中央研究所 システム技術研究所 通信システム領域  |  |
| 目的                                  | 新たなダム放流情報配信システムを想定し、準天頂衛星システムが持つ提供する災害・危機管理通報サービスのメッセージ配信機能を河川水系にて検証する。   |  |
| 期間                                  | 全体  | 2016 年 6 月 1 日 ～ 2016 年 9 月 30 日   |
|                                     | 時間・頻度   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●時間: 期間中の任意の日時</li> <li>●頻度: 全体期間のうち晴天時および雨天時の数回</li> </ul> |
| 実施場所                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地名: 国内の河川水系周辺(調整中)</li> <li>●環境: 山間部</li> <li>●その他: 水力発電施設がある地域</li> </ul>  |  |
| 構成<br>※必要に応じて構成<br>図等を次ページ以降<br>に添付 | 別紙参照  |  |
| 内容<br>※必要に応じて次ペ<br>ージ以降に添付          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●実証概要<br/>悪天候になりやすいダム河川水系において、準天頂衛星システムによる災害・危機管理通報サービスのメッセージ配信機能を検証し、以下について見通しを立てる <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川およびその周辺において準天頂衛星を確認できる</li> <li>・荒天時に「みちびき」からのメッセージを受信できる</li> </ul> </li> <li>●実証の確認及び評価(利用効果の定量的評価方法) <ul style="list-style-type: none"> <li>・GNSS View によりみちびきの位置を確認したうえで、貸与受信機にて災害・危機管理通報サービスのメッセージを受信する</li> <li>・悪天候時に同じ地点にてメッセージを受信し、利用可否を明らかにする</li> </ul> </li> <li>●確認時期 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実証終了後にデータ取り纏めを行う</li> </ul> </li> </ul> |  |
| 受信信号                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>●使用する測位信号名を記載</li> <li>・QZS:L1S</li> </ul>   |  |
| 受信設備                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>●使用する測位信号受信機などを記載</li> <li>■貸与品目/数(ALPHA G3T/1台, QZNAV/1台, QZ1/1台)</li> <li>□持込品目/数( / )</li> </ul>  |  |
| ソフトウェア                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>●測位結果確認ソフトウェア</li> <li>■</li> </ul>  |  |
| 実証前の要求事項                            | 試験環境が雨天の際、電話連絡を受けて「みちびき」より試験メッセージの配信をお願いいたします   |  |
| 実証時の要求事項                            |   |  |
| 実証後の要求事項                            |   |  |
| その他                                 | データ測定完了後に受信装置を返却する  |  |

別紙

実施内容1

◆観測地点よりメッセージを専用端末にて発報し、各受信機にて正常に受信できることを確認する。



実施内容2

◆荒天時にメッセージを発報し、受信可否を確認する。

